

## 女性の就労と運動習慣: 途中基礎資料

永谷 照男 (Teruo NAGAYA)  
名古屋市立大学  
大学院医学研究科 公衆衛生学

第70回日本公衆衛生学会総会  
(2011.10.20, 秋田)

1

### 目的

最終目的は女性の就労による健康影響の評価。  
今回は就労と運動習慣の関連を示す。

対象者 2011.9.30 現在 (抄録資料を更新)

同意を得た 健診受診女性 3818名 のうち、  
休職中を除き、年齢 30~44 歳、現病・妊娠なし、  
今回の調査項目に欠損なし、をみたした  
2247 名。 年齢: 平均(sd) = 38.0(3.8) 歳

2

### A: 就労と労働時間の分布と平均

就労	n	平均年齢(sd)	週労働時間 (h/w)				
無職	411	39.0(3.4)	<40	<45	<50	50≤	平均(sd)
非正規	636	38.8(3.6)	---	---	---	---	-----
正規	1200	37.2(3.8)	428	154	35	19	29.6(12.3)
			209	552	204	235	42.9(7.5)

3

### B: 就労と運動習慣の有無

就労	運動習慣 n(%)	
	なし	あり
無職	262(63.7)	149(36.3)
非正規	398(62.6)	238(37.4)
正規	777(64.8)	423(35.3)
計	1437(64.0)	810(36.0)

$p=0.553$  by  $\chi^2$ -test

4

### C: 就労と運動時間の分布と平均 運動習慣のある者 (n=810)

就労	週運動時間 (m/w)			平均(sd)
	<60	<150	150≤	
無職	25	79	45	138(134)
非正規	36	131	71	141(151)
正規	95	213	115	126(146)
計	156	423	231	133(145)

$p=0.382$  by ANOVA

5

### D: 就労別の労働時間と運動時間 との相関、運動習慣のある者

週労働時間と週運動時間との  
Spearman's  $r$

非正規	-0.004 ( $p=0.945$ , $n=238$ )
正規	0.065 ( $p=0.182$ , $n=423$ )
非正規+正規	-0.009 ( $p=0.808$ , $n=661$ )

6

### まとめ

- 労働時間は 非正規 < 正規。
- 運動習慣の有無は 就労 と関連なかった。
- 運動習慣のある者の運動時間は 就労 と関連なかった。また、非正規、正規とも労働時間と運動時間に相関はなかった。

今後、対象者を追加し、健康指標や家庭要因 (配偶者・子の有無など) を加え、女性の就労が生活習慣や健康に与える影響を検討する。

7

### この研究は

三菱財団、日本健康増進財団の助成金と文科省・科学研究費を用い、国際セントラルクリニック (名古屋市中村区、事務長: 近藤康明、理事長: 内藤靖夫) の多くの受診者と職員の協力で実施している。

研究経過 は下記に順次開示している。

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kouei.dir/moku%20sinkou.html>

8